

気づき、考え、実行する さし人つつしん

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.5
令和5年6月11日
文責：校長 松野克己

読み聞かせスタート



コロナですっとできなかった読み聞かせをようやく始めることになりました。5月29日(月)に岸田さん、北口さん、福郷さん、古川さん、坂本さんに来ていただき、学年単位で実施しました。子ども達は読み聞かせが大好きで、例え高学年でもすぐに絵本の世界にのめり込んでいきます。今回、読み聞かせをしていただいた皆さんありがとうございました。次回は6月19日(月)を予定しています。「できる人が・できるときに・できることを」が今年度の佐志小PTAのキャッチフレーズとなっています。朝8:15分から10分程度ですので、ぜひ保護者の皆さん、ご協力ください。

4年ぶりの校区すもう大会

6月4日(日)の午前中に佐志子ども相撲大会が4年ぶりに開かれました。相撲をする子どもが減っているので実施が危ぶまれましたが、なんとか10人の子ども達が参加してくれたおかげで、この相撲大会を開くことができました。まわし姿の子ども達は学校で見る姿よりたくましく見えます。また、相手に負けまいと力一杯に戦う姿には、見ているこちらもいつの間にか引き寄せられています。なにぶん参加人数が少ないので、子ども達は休む間もありません。でも、弱音を吐くこともなく取組を楽しんでいるように見えました。来年度は20人ぐらいが参加してくれるといいですね。



お魚まつりに行ってきました

この相撲大会と同じ日に、佐志人工海浜北側の駐車場で唐房さかなまつりが行われていました。相撲大会が終わった後の11時前ぐらいに見に行きましたが、右の写真のように賑わっていました。多くの子ども達が来ており、中には声をかけてくれる子もいて嬉しかったですね。おいしそうな海産物も多く、イカのコロッケなど、つつい食べきれないほどの買い物をしてしまいました。当初5年生はゴチ網漁の見学を予定しており、私も船に乗せ



異学年のつながり・しろうおタイム



てもらう予定でしたが中止となってしまったので、ぜひ、来年は実現できるといいですね。

佐志小学校では「しろうおタイム」という1年生から6年生の異学年が混ざったグループ活動があります。異学年のつながりを作るだけでなく、高学年のリーダーシップを高める効果もあります。5月31日(水)に、コロナ禍では難しかった室内でのしろうおタイムを実施し、各グループで6年生が中心となって室内ゲームで楽しみました。7月にはこのたてわり班で校内のそうじを1週間行います。6年生にはこういう活動で最上級生としての自覚と責任を高めて欲しいと思います。

6年生租税教室



6年生は毎年、唐津税務署の職員さんに「租税教室」をしてもらっています。今年は6月7日(水)に実施してもらいました。内容としてはどんな種類の税金があるのか、またその税金がどのように使われているかといったことから始まり「もし、税金がなかったらどんな世の中になるか」をアニメビデオで学習しました。世の中には本当に様々な税金があり、国民一人一人はかなりの金額の税金を支払っていることになります。ぜひ、私たちの納得できるような使い方をしていただきたいものです。

この授業の最後に小学生一人あたり6年間で500万円以上の税金が使われており、20人分となると約1億円以上になることを教えていただき、実際に1億円分の1万円の束をもたせてもらいました。もちろん、本物のお札ではありませんが・・・

プール開き

先週からプールでの学習が始まりました。まだ、水は冷たいのですが、待ちかねていた子ども達は、その冷たさに叫び声を上げながらも表情はとても楽しそうでした。これから7月中旬までの約1ヶ月、水泳や水遊びを楽しむことになりますが、複数の職員で指導や監視をしたり、熱中症防止のため水筒をプールまで持たせたりしています。

保護者の皆さんにお願いを一つ。スイミングキャップやゴーグル、バスタオルは似ているものが多いので、必ず記名をさせてください。時には更衣室にパンツの落とし物がありますが無記名でも「だれのですか?」とは聞けませんね。



SNSによる問題行動・・・保護者の監督が不可欠

SNSでの若者の問題行動が後を絶ちません。いじめにつながる事案、詐欺のような犯罪に巻き込まれる事案、性被害につながる事案、個人情報漏洩につながる事案、著しく信頼を損ね多大な損害を出すような事案が次々に起こっています。例えば、最近では回転寿司で醤油さしを舐めた動画を配信した少年に先日、6700万円の賠償請求もありましたし、鹿児島県の公立高校3年生数十人が集団で電子決済アプリを使った不正送金詐欺に関わった疑いがあるという驚くべき事案も発生しました。

6月7日(水)に佐志中で小中合同の研修会を開き、そこでもこのSNSが話題となりました。小学校以上に中学校では深刻な問題となっているようです。小学校でも自分用のスマホやタブレットでSNSを楽しんでいたり、オンラインゲームで不特定多数とつながったりしている子がかなりいるようです。情報化時代の今、SNSは生活に溶け込んだ連絡手段ですから使うこと自体を否定はできません。ただし、技能とともにモラルやマナーやセキュリティ能力も身に付ける必要があります。学校でも学年に応じた教材を用いたりして、その危険性や正しい使い方の指導をしています。

しかし、このSNSの使い方について最も指導すべき立場は、それを与えた保護者であることは間違いありません。子ども達がSNSをするのも学校外ですから、その用途を一番分かっているのも保護者です。子ども自身が使い方の善悪や危険性をしっかり判断して使えれば問題はないのですが、それを小学生に任せてしまうのは危険であり、やはり保護者の監督は不可欠です。繰り返しのお願いとなりますが、スマホやタブレット、ゲームなどの通信機器については、保護者の皆様の監督責任の下で使わせ、それらに関するトラブル対応も保護者の責任でお願いします。

